

2012年2月27日の琉球新報に 弊社の**沖縄工場**が紹介されました！

新刊

幸反

第3種郵便物認可

新たなオープンを1基増設、機材を2基増設でフル稼働させているパン・アキモトの沖縄工場。24日、うるま市の同工場



パン・アキモトのパン缶詰

震災以降 生産3倍

うるま市の沖縄特別自由貿易地域内にパン缶詰専用工場を構えるパン製造・販売の「パン・アキモト」（本社栃木）の日量の缶詰生産量が、東日本大震災以降増え続け、震災前の3倍に拡大している。同社は需要増に応えるため、設備投資で同工場に新たにオープン1基を増設。従業員（非正規含む）も8人増やし約20人態勢で2基のオープンをフル稼働させている。

うるま市の工場 フル稼働

震災前の日量は栃木工場と合わせ5千缶ほどで、現在は1万5千缶。そのうち7〜8割ほどを沖縄工場で製造している。同社によると、東北地方に限らず全国的に販売量が增加。震災に備えた保存食として個人消費者の購入が爆発的に増えており、3カ月待ちの状態になっている。同社のパン缶詰は最長3年の保存が可能。2012年度は全国の自治体からも注文が多くなっているが、「手元に届くまでは相当期間待ってもらわなければならない」と話す。今後の生産体制の強化について担当者は「需要の状況を見ながら設備投資を判断していく。当面は沖縄工

場を含め、既存施設をフル稼働させ、製造量を増やすことができるように生産ラインの効率化を図っている」と説明した。沖縄工場ではオープン増設のほか、ラベル機も新たに1機導入している。

県産パイア弁当が特別賞

リウボウフーズ 地域食材を活用

リウボウフーズ（浦添中、川村輝明社長）が販売する県産パイアを使用した弁当「パイアチャンプル」が第1回スーパーマーケットお弁当・お総菜大賞で「地域食材活用賞」を受賞した。全国各地から3万6千点の弁当が集まった大会で、同賞は事務局特別賞に当たった。1〜3日の日程で東京で開かれ、8万5千人が来場した「スーパーマーケット

宮古島シティ社がホテル棟を落札
マリンターミナル
【宮古島】宮古島市などが出資する第三セクターの宮古島マリンターミナル（社長・下地敏彦市長）は

24日、臨時取締役会を開き、ホテル棟（ホテルアトールエメラルド宮古島）の落札者を宮古島シティアンドリゾート（同市上野、西里秀徳社長）に正式決定した。売却価格は8億3千万円。入札要項には従業員の



第1回スーパーマーケットお弁当・お総菜大賞で地域食材活用賞を受賞したパイアチャンプル弁当

搭乗前にくつろぎを

那覇空港 ANAラウンジ改装

全日本空輸（ANA）は25日、那覇空港の国内線ラウンジをリニューアルし



「トトレッドショー」（新日本スーパーマーケット協会主催）のイベントの一環。24日、琉球新報社を訪れ、受賞を報告した川村社長は「大変うれしい賞を受賞した。本土では、パイ